

平成25年度JAMCA 全国統一模擬試験

〔二級ジーゼル自動車〕

平成26年1月11日

22 問題用紙

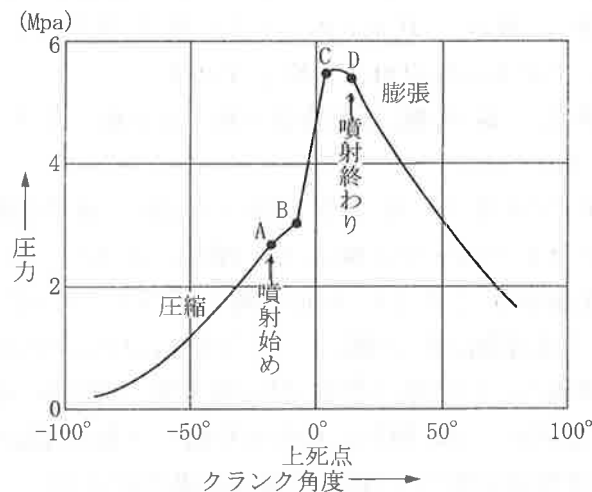
〔注意事項〕

1. 問題用紙は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 卓上計算機は、四則演算、平方根($\sqrt{\quad}$)、百分率(%)の計算機能だけを持つ簡易な電卓のみ使用することができます。違反した場合、失格となることがあります。
3. 答案用紙と問題用紙は別になっています。解答は必ず答案用紙に記入して下さい。
4. 答案用紙の「受験地」、「番号」、「氏名(フリガナ)」及び「生年月日」の欄は、次により記入して下さい。これらの記入がなければ失格となります。
 - (1) 答案用紙の「受験地」、「番号」欄は、受験票の数字を正確に記入するとともに、該当する数字の○を黒く塗りつぶして下さい。
 - (2) 答案用紙の「氏名(フリガナ)」及び「生年月日」の欄は、漢字は楷書で、フリガナはカタカナで、数字はアラビア数字で正確に、かつ明瞭に記入して下さい。
 - (3) 答案用紙の「性別」欄及び「生年月日」の元号欄は、該当するものに○印を記入して下さい。
5. 答案用紙の「修了した養成施設等」の欄には、該当するものの番号に○印を記入して下さい。なお、「1. (一種養成施設)」は自動車整備学校、職業能力開発校(職業訓練校)及び高等学校等で今回受験する試験と同じ種類の自動車整備士の養成課程を修了した者、「2. (二種養成施設)」は自動車整備振興会・自動車整備技術講習所において今回受験する試験と同じ種類の自動車整備士の講習を修了した者が該当し、前記以外の者は「3. (その他)」に該当します。
6. 答案用紙の解答欄は、次により記入して下さい。
 - (1) 解答は、問題の指示するところから、4つの選択肢の中から**最も適切なもの、又は最も不適切なもの等**を一つ選んで、解答欄の1～4の数字の下の○を黒く塗りつぶして下さい。2つ以上マークするとその問題は不正解となります。
 - (2) 所定欄以外には、マークしたり、記入したりしてはいけません。
 - (3) マークは、HBの鉛筆を使用し、黒く塗りつぶして下さい。ボールペン等は使用してはいけません。
良い例 ● 悪い例 ● ✕ ✖ ⊕ ⊙(薄い)
 - (4) 訂正する場合は、プラスチック消しゴムできれいに消して下さい。
 - (5) 答案用紙を汚したり、曲げたり、折ったりしないで下さい。
7. 試験開始後30分を過ぎれば退場することができますが、その場合は答案用紙を机の上に伏せて静かに退場して下さい。一度退場したら、その試験が終了するまで再度入場することはできません。
8. 試験会場から退場するとき、問題用紙は持ち帰って下さい。

【No. 1】 ジーゼル・エンジンの性能の用語に関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか。**

- (1) 体積効率は、一般に0.9程度である。
- (2) 空気過剰率は、低速で負荷が小さい(噴射量が少ない)ときには1.2~1.4程度で、全負荷(最大噴射量)時には2.5以上である。
- (3) グロス軸出力とは、エンジンの運転に必要な付属装置だけを装着して、エンジン試験台で測定した軸出力をいう。
- (4) 熱損失とは、冷却水へ失われる冷却損失と排気ガスにもち去られる排気損失の二つだけである

【No. 2】 図に示すディーゼル・エンジンの燃焼に関する記述として、**適切なものは次のうちどれか。**



- (1) 図のAからBの間が直接燃焼期間で、シリンダ内の混合気が着火温度に近付きつつある期間である。
- (2) 図のBからCの間が着火遅れ期間で、このときの圧力上昇は、AからBの間に噴射された燃料の量、霧化状態などに関係する。
- (3) 図のCからDの間が火炎伝播期間で、Cを過ぎても燃料は噴射されているが、BからCの間で生じた火炎のため燃焼が行われる。
- (4) 図のAからBの間での噴射量が規定より多くなった場合などにディーゼル・ノックは発生しやすい。

【No. 3】 ジーゼル・エンジンの排気ガスに関する記述として、**適切なものは次のうちどれか。**

- (1) マフラの詰まりは、黒煙が多くなる原因とはならない。
- (2) サルフェートとは、燃焼中の硫黄分が酸化して生成された硫黄化合物の総称である。
- (3) 混合気が完全燃焼すると大部分は、CO(一酸化炭素)、HC(炭化水素)及びNO_xである。
- (4) NO_x(窒素酸化物)は、不完全燃焼時に多く発生する。

【No. 4】 シリンダ・ライナに関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

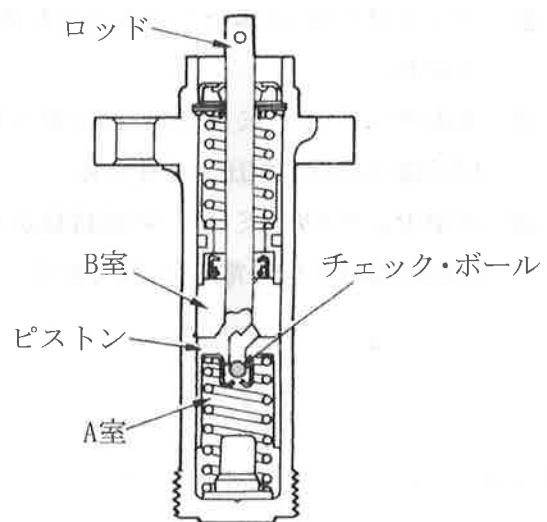
- (1) キャビテーションは、燃料に含まれる硫黄分によって、ライナの内外周面が腐食する現象をいう。
- (2) 乾式のライナは、冷却水が直接ライナの外周面に接している方式である。
- (3) ライナには、特殊鋳鉄が用いられるが、鋼管(肉厚約1~1.5mm)を使用するものもある。
- (4) ライナの内外周面には、キャビテーションの発生を抑えるために、クロムめっきを施して耐摩耗性を向上させている。

【No. 5】 図に示すタイミング・ベルトの自動調整式テンショナに関する次の文章の(イ) ~ (ロ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。

エンジン回転速度の上昇時などベルト張力に変動が生じ、高い荷重が発生しロッド及びピストンが押されると、(イ)の圧力が高くなり、チェック・ボールがA室とB室の通路を(ロ)し、ロッドが押し込まれることを防いでいる。

(イ) (ロ)

- | | |
|--------|----|
| (1) A室 | 遮断 |
| (2) A室 | 開放 |
| (3) B室 | 遮断 |
| (4) B室 | 開放 |



【No. 6】 着火順序1-4-2-6-3-5の4サイクル直列6シリンダ・エンジンの第6シリンダが圧縮上死点にあり、この位置からクランクシャフトを回転方向に540°回転させたとき、燃焼行程の下死点にあるシリンダとして、適切なものは次のうちどれか。

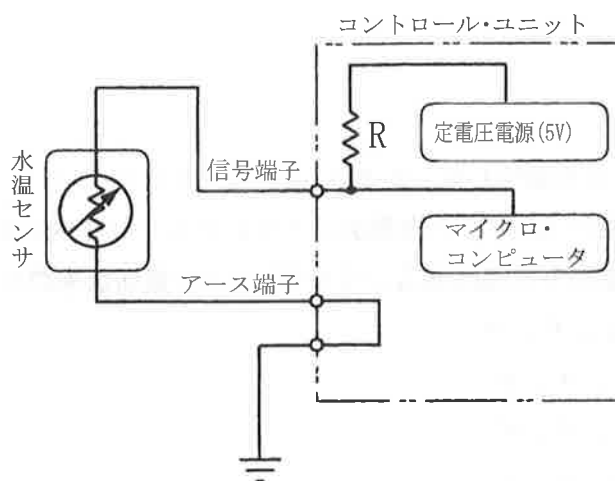
- (1) 第1シリンダ
- (2) 第2シリンダ
- (3) 第3シリンダ
- (4) 第6シリンダ

【No. 7】 エンジン・オイル及び潤滑装置に関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか。**

- (1) オイル容量が大きい大型エンジンでは、清浄効果を高めるために数個のオイル・フィルタを用いている。
- (2) レギュレータ・バルブは、オイル・ギャラリ部に設けられ、オイル・ギャラリの油圧が規定値を超えると開く。
- (3) エンジン・オイルは、そのオイル自体の温度が $125^{\circ}\text{C}\sim 130^{\circ}\text{C}$ 以上になると急激に潤滑性が失われる。
- (4) バイパス・バルブは、オイル・フィルタやオイル・クーラ部に設けられ、オイル・フィルタやオイル・クーラが詰まると開いて、直接オイル・パンへオイルを戻す働きをする。

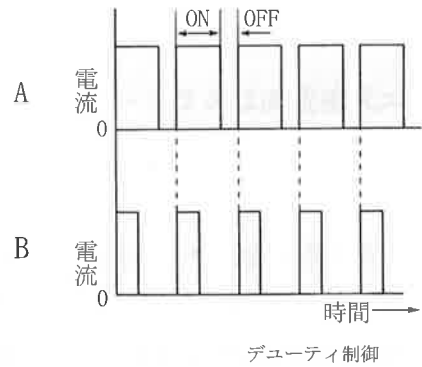
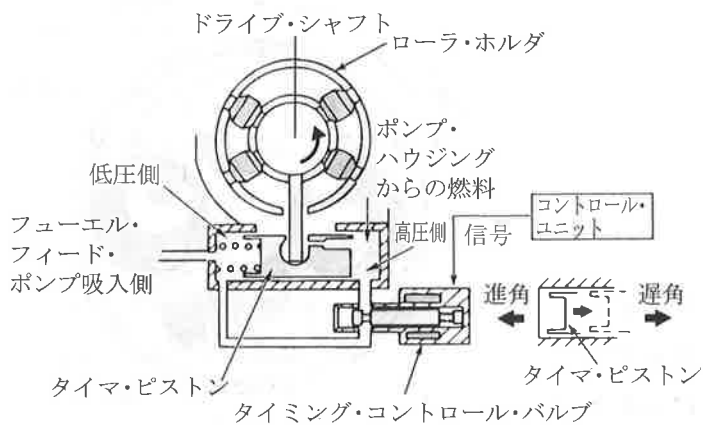
【No. 8】 図に示す冷却水温度の検出に用いられる、負特性のサーミスタを使用した水温センサの回路に関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか。**

- (1) 水温センサ(サーミスタ)の抵抗値は、冷却水温度が低いほど大きくなる。
- (2) コントロール・ユニットに入力される信号端子の信号電圧は、冷却水温度が高いほど低くなる。
- (3) 水温センサ(サーミスタ)の抵抗値が変化すると、コントロール・ユニットに入力される信号端子の信号電圧も変化する。
- (4) 水温センサ(サーミスタ)の抵抗値が大きくなると、コントロール・ユニットに入力される信号端子の信号電圧は、低くなる。



【No. 9】 電子制御式分配型インジェクション・ポンプのタイミング・コントロール・バルブに関する次の文章の(イ)～(ロ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。

図中のデューティ制御において、通電時間がAからBに変化すると、コイルに流れる平均電流は(イ)なり、バルブの開度は小さくなってタイマ・ピストンは(ロ)方向に移動する。



(イ) (ロ)

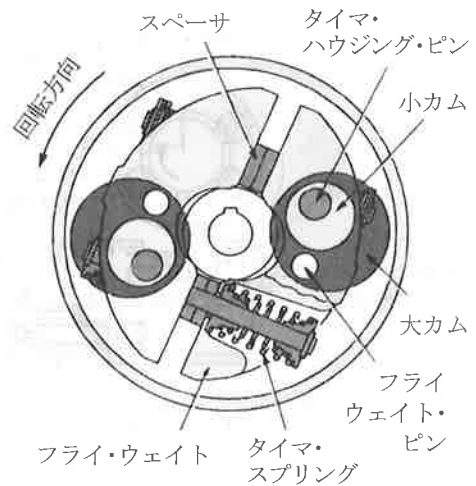
- | | |
|---------|----|
| (1) 大きく | 遅角 |
| (2) 小さく | 遅角 |
| (3) 大きく | 進角 |
| (4) 小さく | 進角 |

【No. 10】 電子制御式列型インジェクション・ポンプ及びセンサに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) アクセル位置センサは、アクセル・ペダルの踏み込み量を電圧に置き替えて検出している。
- (2) エンジンの高速回転域では、タイミング・スリーブが下方にあり、プリストロークが小さいので噴射時期が早くなる。
- (3) プランジャが一定量の燃料を圧送する場合、プリストロークが大きいほど送油率が高くなり、最大噴射圧力も高くなる。
- (4) 噴射量の増減は、プリストローク・アクチュエータがコントロール・ロッドを移動させて行っている。

【No. 11】 図に示す偏心カム型タイマに関する次の文章の()に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。

エンジン回転速度が上昇し、(イ)の遠心力がタイマ・スプリングのばね力より大きくなると(イ)が外側にリフトする。この結果、(ロ)に挿入されている大カムが回転方向へ移動し、同時に(ロ)が回転方向に回転するため、噴射時期は早くなる。



- | (イ) | (ロ) |
|---------------|-------------|
| (1) スペーサ | フライ・ウェイト |
| (2) フライ・ウェイト | タイマ・ホルダ |
| (3) タイマ・スプリング | フライ・ウェイト・ピン |
| (4) 大カム | タイマ・ハウジング |

【No. 12】 ターボチャージャ付きエンジンの慣性過給装置に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 一つの吸入行程で発生する正圧波及び負圧波による吸入効果を慣性効果という。
- (2) 吸入行程時に発生する圧力波を利用し、吸入空気の慣性効果と脈動効果により主に高速回転域の吸入空気量を増大させる。
- (3) 吸入完了後に吸気管内に残留していた正圧波及び負圧波が、次の吸入行程時に作用する吸入効果を脈動効果という。
- (4) インレット・バルブが開く直前又は閉じる直前に吸気管内の正圧波が重なれば吸入空気量は増大し、逆に負圧波が重なれば減少する。

【No. 13】 ジーゼル・エンジンの予熱装置に関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか。**

- (1) セラミックス型グロー・プラグは、発熱部にセラミックスを用いているため、発熱部は、始動後も高温を維持する。
- (2) 自己温度制御型グロー・プラグは、外側を保護金属管で覆い、その内側にブレーキ・コイルとラッシュ・コイルを直列に接続した構造である。
- (3) 電熱式インテーク・エア・ヒータの点検は、吸入空気温度に応じて、エア・ヒータが機能することを確認する。
- (4) 一般にエア・ヒータは、直接噴射式エンジンに使用され、グロー・プラグは渦流室式エンジン及び一部の直接噴射式エンジンに使用される。

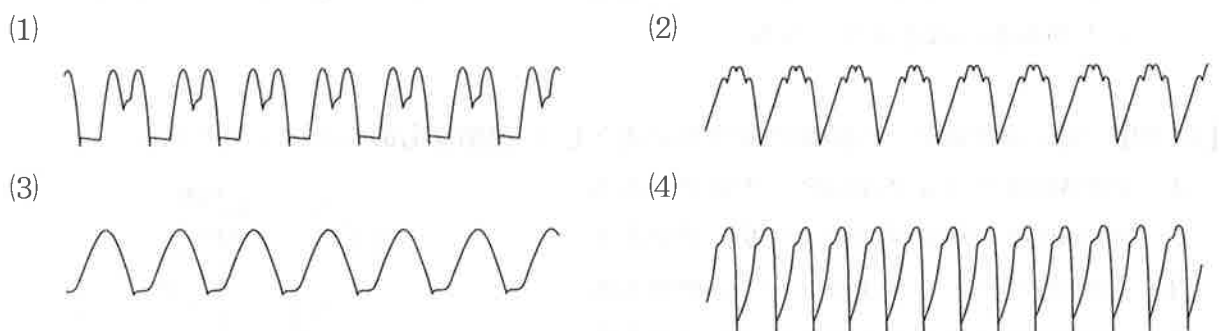
【No. 14】 スタータに関する次の文章の(イ)～(ロ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち**適切なものはどれか。**

1. スタータの無負荷特性テストは、定格容量のバッテリーを用いてピニオンに負荷をかけない状態で電圧を加えそのときの(イ)が規定値を示すことを確認する。
2. アーマチュア・コイルの断線は、サーキット・テスタを用いて(ロ)の導通を確かめることで判断できる。

(イ) (ロ)

- (1) 電圧と回転速度 コンミュテータとアーマチュア・コア間
- (2) 電流と回転速度 コンミュテータの各セグメント間
- (3) 電圧と電流 コンミュテータの各セグメント間
- (4) 電流と回転速度 コンミュテータとアーマチュア・コア間

【No. 15】 スター結線のオルタネータで、ダイオードが1個短絡しているB端子の電圧波形として、**適切なものは次のうちどれか。**



【No. 16】 ATのストール・テストに関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) ストール・テストは、各レンジにおける最高回転速度を測定する。
- (2) 各レンジのエンジン回転速度が全体的に低い場合、エンジン出力不足、ステータのワンウェイ・クラッチ作動不良等が考えられる。
- (3) 特定のレンジのみが規定のエンジン回転速度より低い場合、プラネタリ・ギヤ・ユニットの中の該当するクラッチ、ブレーキ及びブレーキ・バンドの滑り、同系統のオイル漏れ等が考えられる。
- (4) ストール・テストの実施時間は、5秒以下の短時間で行う。

【No. 17】 CVT(ベルト式無段変速機)に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

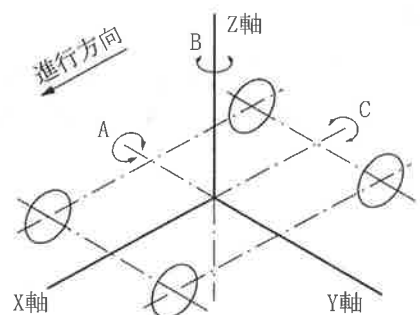
- (1) スチール・ベルトのエレメントは、圧縮作用で動力を伝達している。
- (2) スチール・ベルトは、多数のエレメントと多層のスチール・バンド2本で構成されている。
- (3) プライマリ・プーリに掛かる作動油圧が高くなると、プライマリ・プーリの溝幅は狭くなる。
- (4) セカンダリ・プーリは、油圧室に油圧を掛け、溝幅を変化させ、プーリ比(変速比)を制御している。

【No. 18】 マニュアル・トランスミッションのクラッチの伝達トルク容量に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) クラッチの伝達トルク容量は、スプリングによる圧着力、摩擦板の摩擦係数、摩擦面の有効半径、摩擦面積に関係する。
- (2) クラッチの伝達トルク容量が過小のときは、滑りが増加して発熱量が大きくなりフェーシングの摩耗が急増しやすい。
- (3) クラッチの伝達トルク容量は、一般にエンジンの最大トルクの2.0倍～3.5倍(これを余裕係数という。)に設定している。
- (4) クラッチへの負荷の大きさは、自動車質量が大きいほど大きく、エンジンの慣性モーメントが大きいほど大きくなる。

【No. 19】 図に示すボデーの揺動に関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 図のAはヨーイング、Bはピッチングである。
- (2) 図のAはピッチング、Cはローリングである。
- (3) 図のBはローリング、Cはヨーイングである。
- (4) 図のBはピッチング、Cはヨーイングである。



【No. 20】 エア・サスペンションに関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 荷重が大きくなると、ボデーの上下固有振動数は比例して大きくなる。
- (2) ダイヤフラム型エア・スプリングのベローズには2～4山のものがあり、変形を防ぐために谷部にリングを入れてある。
- (3) エア・タンクの圧力が何らかの原因で規定以下になった場合は、セーフティ・バルブが閉じて、エア・ブレーキ系統のエアの圧力が低下するのを防止している。
- (4) レベリング・バルブのコネクティング・ロッドを長く変えることにより、エア・スプリングの高さが高くなる。

【No. 21】 反力制御式のラック・ピニオン型電子制御式パワー・ステアリング(ロータリ・バルブ式)に関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

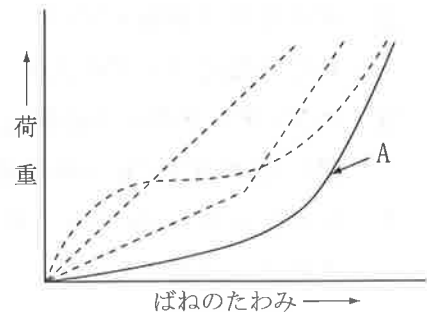
- (1) 反力制御式では、油圧特性をエンジン回転速度に応じて変化させて操舵力を変えている。
- (2) 油圧制御部のソレノイドに、コントロール・ユニットからエンジン回転速度に応じた電流が送られると、ソレノイド・プランジャには、エンジン回転速度に応じた推力が発生する。
- (3) 油圧制御部は、モータと油圧制御バルブなどで構成されている。
- (4) 中高速走行・普通操舵時に車速が増加すると、油圧制御部のソレノイドへの電流も減少し、ソレノイド・プランジャへの推力も減少する。

【No. 22】 大型トラック、バスのISO方式(平座面)のホイールの取り付けの記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 取り付け時に用いる潤滑剤には、二硫化モリブデン入りのオイルやグリースを使用しない。
- (2) ホイール・ボルトとナットのねじ部、ホイールと座金(ワッシャ)との当たり面にエンジン・オイルなどの潤滑油を薄く塗布する。
- (3) ディスク・ホイールのハブに取り付ける際に、ハブのはめ合い部(インロー部)に、グリースを薄く塗布する。
- (4) ホイールのセンタリングは、ハブのインロー部で行う。

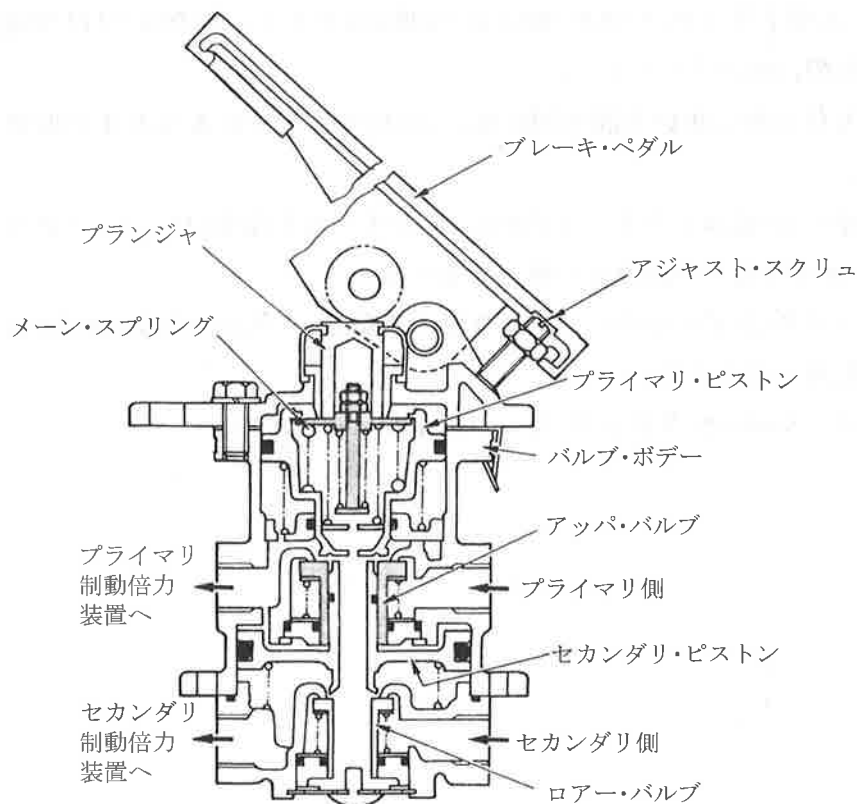
【No. 23】 サスペンションに使われるスプリングのうち、図のAに示すばね特性をもつスプリングの名称として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 二段式リーフ・スプリング
- (2) ベローズ型エア・スプリング
- (3) 一般的なリーフ・スプリング及びコイル・スプリング
- (4) ダイヤフラム型エア・スプリング



【No. 24】 図に示すエア・油圧式ブレーキのデュアル型ブレーキ・バルブに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) ブレーキ・ペダルを踏み込むとプランジャが、直接プライマリ・ピストンを押し下げる。
- (2) セカンダリ・ピストンは、プライマリ制動倍力装置に流入し始めたエアが、貫通孔からセカンダリ・ピストン上部に流れ込み、このエアの圧力により押し下げられる。
- (3) ブレーキ・ペダルを離したとき、セカンダリ制動倍力装置側のエアは、セカンダリ・ピストンとローア・バルブに設けられた排出孔から排出される。
- (4) セカンダリ側の配管系統が破損して、エアの圧力がなくなった場合には、ブレーキが効きはじめるまでのペダルの踏み込み量は少し増加する。



【No. 25】 フレーム及びボデーに関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) モノコック・ボデーは、衝撃により破損した場合、構造が単純なために修理は容易である。
- (2)トラック・フレームのサイド・メンバを補強する場合、フレームの厚さ以上の補強材を使わない。
- (3) サイド・メンバの片側だけに、き裂が発生した場合にも、重量バランスが悪くなるのを防ぐため、左右のサイド・メンバに同じような補強を施す必要がある。
- (4)トラックのフレームは、トラックの全長にわたって貫通した左右2本のクロス・メンバが配列されている。

【No. 26】 独立懸架式サスペンションのホイール・アライメントに関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) プラス・キャンバの場合、キャンバ・スラストはキャンバ角が小さくなるに伴って増加する。
- (2) キング・ピン中心線の延長線が路面と交差する点を、キャスト点という。
- (3) 自動車が直進する場合に直進方向を決定する要因は、前左右輪のトーである。
- (4) ボール・ナット型ステアリングの場合、左右のタイロッドの長さを異なって調整しても、直進走行時における、ハンドルの中心位置の狂いは生じない。

【No. 27】 電気空気式エキゾースト・ブレーキに関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

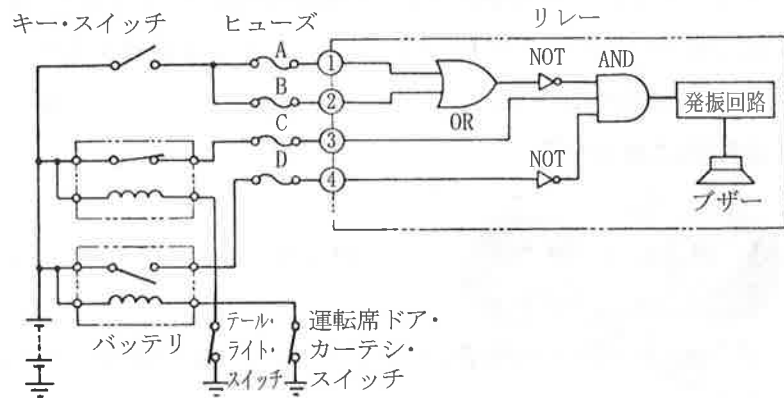
- (1) エンジン・ブレーキの一種で、エンジン・ブレーキの効果を増すものである。
- (2) エンジンのエキゾースト・パイプ内にバルブを設け、これを閉じて排気行程における抵抗を増大させている。
- (3) エンジンのエキゾースト・バルブのスプリングの強さで、制動効果が決定される。
- (4) エンジンの吸気管に設けられているインレット・マニホールド・バルブは、エキゾースト・ブレーキ作動時に圧縮空気が膨張して発生する特有の騒音を防ぐとともに、制動効果を高める働きをしている。

【No. 28】 鉛バッテリーに関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 電解液の比重は、温度が高いと電解液容積が増加するため低くなる。
- (2) バッテリーの起電力は、一般に電解液の温度が高くなると大きくなり、その値は、電解液温度が1℃上昇すると0.0002～0.0003V程度大きくなる。
- (3) 電解液の比重は、電解液温度25℃を標準としているので、実測したときの電解液温度が相違する場合は、温度換算をする必要がある。
- (4) 電解液は、比重約1.29のものが一番凍結しにくく、その氷点は-73℃付近である。

【No. 29】 図に示すライト消し忘れ警報装置に関する次の文章の()に当てはまるものとして、適切なものは次のうちどれか。

キー・スイッチがOFFの状態、テール・ライト・スイッチがON、運転席ドア・カーテン・スイッチがONのとき、ブザーが吹鳴しない場合は、ヒューズ()が断線していることが考えられる。



- (1) A
- (2) B
- (3) C
- (4) D

【No. 30】 カー・ナビゲーション・システムに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

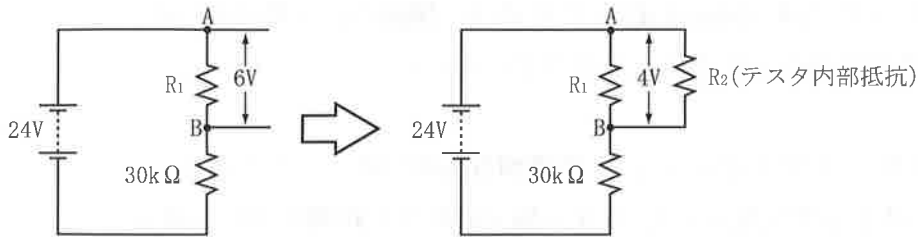
- (1) GPSアンテナは、トンネル内では人工衛星からの電波を受信できない。
- (2) ジャイロ・センサは、地磁気により方位を検出している。
- (3) 現在主に使われている推測航法は、絶対位置をGPS方位で、相対位置をジャイロ・センサと車速センサで検出して車両の位置を求める方法である。
- (4) マップ・マッチング航法では、推測航法で算出した車両の走行軌跡と、道路形状を比較することにより、車両の現在位置を求めている。

【No. 31】 図に示す電気回路において、R1及びR2(テスタ内部抵抗)の抵抗値として、適切なものは次のうちどれか。ただし、バッテリー及び配線の抵抗はないものとする。

なお、回路2は回路1にテスタを接続したときの回路である。

回路1 A-B間の電圧は6V

回路2 A-B間の電圧は4V



- (1) R1=5kΩ R2=10kΩ
- (2) R1=10kΩ R2=10kΩ
- (3) R1=10kΩ R2=15kΩ
- (4) R1=15kΩ R2=15kΩ

【No. 32】 次の諸元を有するトラックの最大積載時の前軸荷重について、適切なものは次のうちどれか。ただし、乗員1人当たりの荷重は550Nで、その荷重は前軸上に作用し、又、積載物の荷重は荷台に等分布にかかるものとする。

- (1) 25800N
- (2) 26900N
- (3) 31200N
- (4) 32300N

ホイールベース	4300mm	乗車定員	2人
空車時前軸荷重	22200N	荷台内側長さ	5300mm
空車時後軸荷重	16800N	リヤ・オーバハング	2050mm
最大積載荷重	64500N	(荷台内側まで)	

【No. 33】 非鉄金属に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 銅は、電気や熱の伝導が銀に次いで高い。
- (2) アルミニウムは、鉄に比べて熱の伝導率は約2倍と高い。
- (3) 鉛は、空气中で容易に腐食されず、塩酸や硫酸に溶解されない。
- (4) 青銅は、銅に錫(すず)を加えた合金で、耐摩耗性に優れている。

【No. 34】 測定機器及び工具に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) バキューム・ゲージは、シリンダの圧縮圧力の測定に用いられる。
- (2) ノズル・テストは、インジェクション・ノズルの燃料噴射圧力と噴霧状態の点検などに用いる。
- (3) 台スコヤは、長片に薄い鋼板を用い、短片に厚い鋼製の台を用いている。
- (4) リーマは、金属材料の穴の内面仕上げなどに用いる。

【No. 35】 軽油(燃料)に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 軽油の着火性を示す尺度として、セタン価又はセタン指数が用いられる。
- (2) 軽油には、一般に10から15%程度の硫黄分が含まれている。
- (3) 冬季寒冷地用の軽油は、一般に使用されている軽油に比べて流動点が低い。
- (4) セタン価が高い軽油ほど、ジーゼル・ノックを起こしにくい。

【No. 36】 「道路運送車両法」に照らし、国が行う自動車の検査の種別として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 新規検査
- (2) 予備検査
- (3) 分解整備検査
- (4) 構造等変更検査

【No. 37】 「道路運送車両法」及び「道路運送車両法施行規則」に照らし、自動車分解整備事業者が分解整備をしたときに、分解整備記録簿に記載しなければならない事項として、**該当しないもの**は次のうちどれか。

- (1) 分解整備の概要
- (2) 事業場の認証番号
- (3) 分解整備を開始した年月日
- (4) 依頼者の氏名又は名称及び住所

【No. 38】 「道路運送車両法」に照らし、臨時運行の許可の有効期間の記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 5日をこえてはならない
- (2) 10日をこえてはならない
- (3) 15日をこえてはならない
- (4) 20日をこえてはならない

【No. 39】 「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、最低地上高が低くなるように改造された、小型自動車の最低地上高の測定条件として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 測定する自動車には、55kgの重量を加えるものとする。
- (2) 測定する自動車のタイヤの空気圧は、規定値とする。
- (3) 車高調整装置が装着されている自動車は、標準(中立)の位置とする。
- (4) 測定する自動車を舗装された平面に置き、地上高さを巻き尺等を用いて測定する。

【No. 40】 「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、次の文章の(イ)～(ロ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち**適切なもの**はどれか。

番号灯は、夜間後方(イ)の距離から自動車登録番号標、臨時運行許可番号標、回送運行許可番号標又は車両番号標の数字等の表示を確認できるものであること。番号灯の灯光の色は、(ロ)であること。

- | (イ) | (ロ) |
|---------|---------|
| (1) 10m | 白色又は淡黄色 |
| (2) 10m | 白色 |
| (3) 20m | 白色又は淡黄色 |
| (4) 20m | 白色 |